

# 想創奏

第 51 号

発行人 荒川 輝男  
編集人 出口 祐也  
〒536-0013  
大阪市城東区鳴野東 3-2-26  
社会福祉法人そうそうの杜  
Tel 06-6965-7171  
Fax 06-6167-2622  
H P <http://www.sou-sou.com/>



## 奇跡の山茶花

この写真の山茶花は、2020年12月31日に近隣の利用者から大きくなりすぎたので伐採して欲しいとの連絡を受け、立派に育ったものをいざ捨てるとなるともったいないので大きな壺にさしていました。ところがいつまでたっても枯れません。水を補給しているのですが、そして1年後の冬にふと見るとなんとつぼみが出ているではないか“感動”です。1年数か月

も経つのに**奇跡の山茶花**。皆さんに幸運をお届けします。

## 巻頭言

突然の判決に憤りを隠せず。

理事長 荒川 輝男

# 「障害者 GH は規約違反」 マンション内賃貸「住宅に当たらず」

この見出しを見ただけで法曹関係やマンション住民の障害者福祉に関する意識の貧弱さ、まさに差別に満ちた判決に驚きを覚えた。

実は、このグループホームは、因縁があって今をさること 20 数年前に筆者が当時の淀川区に入所施設をスタートさせ、3 年目に最初の GH として立ち上げた第 1 号がこのマンションであった。その後は運営法人が変わり時代も変わっていたので、今回の出来事については晴天の霹靂でもあった。当時は、長年待っていた入所施設にようやく入れたと喜んでおられた家族会の猛反対を押し切ってスタートした GH で個人的には思い入れのある GH だった。

判決では、GH は、個人の家でなく施設だから個人の住居として認めないという詭弁を弄して原告の主張のみを支持しているが、裁判官やマンション自治会は GH の実際の生活を知らないまま一方的に判断している。

根底には排除の論理で結論ありきの裁判のような気もする。しかしこれを認めれば知的障害のある人の地域生活が根底から揺さぶられることになる。

このケースは、絶対に認めてはいけない判決で当該法人もすぐに控訴したとのこと、今後とも可能なことは法人として取り組みを行い監視していかなければならない。

## 一方、2022・2・22 と 2 がきれいに並んだ日に、画期的な判決があった

旧優生保護法（1948～96 年、旧法）の下で不妊手術を強いられたとして、近畿地方に住む 3 人が、国に計 5500 万円の損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決が 22 日、大阪高裁であった。

## 「損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決が **請求を棄却した一審・大阪地裁判決を変更し、国に賠償を命じた**」

特筆すべきは、手術から 20 年の除斥期間が過ぎ、損害賠償を求める権利が消えたとして原告側の請求を退けていたが、裁判官の判断は法律上の解釈を画一的に当てはめるべきでないとし、原告側の逆転勝訴とした。

ロシアによるウクライナ進行という第 3 次世界大戦に飛び火するようなどんでもない

**戦争が勃発し**た。世界各国の権力者の構図が変わってきている感があり、国益優先のスタンスでエゴともいえる国威発揚を掲げる国家が増えてきていることは憂慮される事態である。

このような背景で、いつの時代も犠牲になるのは障害のある人や高齢者、児童などの要援護者である。

## ===よい早く、恒久の平和を望む===

### 今号の内容紹介

新型コロナウイルスがまだまだ予断を許さない状況ですが前号から關宏之さんのエッセイを読んだ方から、ほのぼのとした味わいのある文章との感想をいただきました。今回はその2回目です。そうそうの杜での日中活動に外部から講師をお願いして各日中活動の場で利用者が楽しんでもらえるようにしています。

ダンス げんげん 創奏 つむぎ館 伝 杜のこうさてん

ヨガ 創奏 杜のこうさてん

歌 創奏 つむぎ館 いま福の家 庵 げんげん

アロマ 庵 いま福の家

陶芸 (内部講師) いま福の家 伝 げんげん 創奏

栄養相談 杜のこうさてん

この中から講師の方に原稿をいただきました。

また、ミャンマー人留学生との出会いからミャンマーの人たちへの独自の支援はできないかと模索してきましたが、灯台下暗し同じ城東区森ノ宮で1988年からビルマ支援で活動されてきた「日本ビルマ救援センター」の出会いがあり支援が確実に届くという確認もできますので法人としても応援していきたく紹介をしております。

◎日本ビルマ救援センター (BRC-J)

大阪市城東区森ノ宮 2-2-8-609

Fax 06-6967-7828

【ゆうちょ銀行 郵便振替】

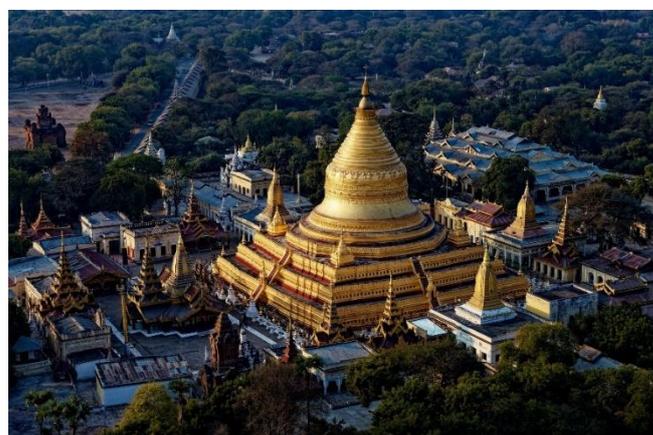
番号 00930-0-146926

名義 BRC-J

【りそな銀行 金剛支店】

口座 6553928(普通)

名義 日本ビルマ救援センター



# 目次

關さんのエッセイ① 水先案内人「筋は曲げない」	P4
講師の方々から	
Chami	P6
一般社団法人コトモット 代表理事 池田有美	P7
MAO	P9
えんじゅ 槇 敦子	P10
中島ゆきえ	P12
關さんのエッセイ② 水先案内人「自燃の人」	P13
E-Sports 部	P15
安全衛生委員会	P16
ヒヤリハット会議	P17
高齢者の未来を考える会	P18
防災委員会	P20
いま福の家 第5回運営推進会議	P21
關さんのエッセイ③ 水先案内人「おおさかのわらべうた」	P23
ミャンマーの情勢について	P25
關さんのエッセイ④ 水先案内人「隣に居ます」	P32

## 関宏之さんのエッセイ

①



### 「水先案内人」

こんな時どっちを選ばれるんだろうか・・・と、ふと尋ねたくなる方がおられます。どなたにもそんな人が棲んでいると思いますが、私のなかに棲む4人の水先案内人です。

#### ① 筋は曲げない

春山廣輝先生は内科医で、新宿歌舞伎町の猥雑なネオン街に診療所があった。清楚な待合室はいつも一杯だった。娘さんが知的障害ということから新宿区の若い保護者の方々とともに活動されていた。私は、就労分野の一人としてその会合に参加するようになった。先生を訪ねていくと、「あそこで待っててな」と言われてメンバーの方が経営するスナックで楽しいひと時をもった。

ある時、障害のある人の社会参加や就労促進を掲げるオピニオンリーダーの会合で、高名なメンバーの一人が、「知的障害のある女性が雨にも関わらず上呂で花に水遣りをしているのを見た。私はいっそその花になりたい」と言われた。その情景を思っ私も感傷に浸ったが、いつも物静かな先生が「あなたらしくない。雨の中で水遣りをする滑稽さを考えられたことがあるのか。私たちの子供はあなた方の感傷や感動の道具ではない」ときっぱりと言われた。あの温厚な先生がとても怖かった。

先生は「全日本精神薄弱者育成会」の理事長に就任されるやすべての法律から「精神薄弱」を削除し「知的障害」とすること、当事者の彼らと対等であり定期的に団体交渉を持つこと。

地域に根ざした生活や就労の場を整えて社会参加を実現するために「もう施設には戻らない運動」を先導して施設の廃止を唱えられた。育成会の全国大会には、親の会の会合と当事者の会が同時開催され、厚生労働省などの来賓も両方の会合できちんと挨拶を述べた。先生は、講演や挨拶では決まって「人権を言うなら、先ず彼らを隔離から解放すべきだ」といわれ、欧米のピープルファースト (people first) 運動に劣らない機運を作り上げられた。山形出身だという先生の朴訥な言い回しで保護者や支援者、当事者に施設主義を克服しようと熱弁された。

先生は志半ばで急逝された。施設主義の人や当事者活動を苦々しく思う人たちが勢いを吹き返し、脱施設化に向けた機運も元の木阿弥となった。当事者の人たちや先生の考えとともにあった人たちの抵抗もことごとく覆され、私も育成会との関りが薄れた。

当事者が唱えた人間としてのプライド、それを尊重された先生の毅然とした態度、私にもあのルネサンス運動に連なっていたという自負がある。



歌・音楽の時間を担当している、chami（ちゃみ）と申します。ボイストレーナー・シンガーソングライターなど、音楽にかかわる仕事をしています。そうそうの杜グループでは、5つの事業所で音楽の時間を担当しています。普段はお会いできない事業所の方々とも、運動会・忘年会の大きなイベントで一緒に歌うことができ、とても嬉しく思っています。

デイサービスで演奏する経験は今までに無く、最初は「何を演奏すればいいのか？」と悩みましたが、フォークソング・歌謡曲はもちろん、童謡・唱歌もどンドン一緒に歌っていただき、初めてお会いする人とも、同じ曲を歌えるというだけで、こんなに打ち解け、盛り上がるものなのだ、と、改めて音楽の力を感じ、先人の残してくれた名曲に感謝する日々です。私のご提供する歌の時間は、歌を聴く時間ではなく、一緒に歌い、音を出す時間です。

歌は呼吸です。楽しく歌っていれば、呼吸をたくさんして、体操やスポーツをするのと同じような運動になります。また、懐かしい曲を思い出しながら歌うことで、脳が刺激されます。口や舌をたくさん動かせば唾液が出て、感染症の予防効果があります。

というような、体への効果、よりもなによりも！

私は、利用者さんが次の歌の時間が楽しみになるような、歌の時間があるから事業所に行こう！と思って頂けるような歌の時間にしたい！と思っていますのです。実際、今までなかなか事業所にいこうと思えなかった方が、歌の時間をきっかけに通所して下さるようになった方がいらっしやいます。どんなイベントにも興味が持てず参加されなかった方が、楽器に興味を持ち、見よう見まねで音をだしながら、音楽の時間の最初から最後までを楽しんで下さる姿もありました。すべて私の原動力になっています。

そうそうの杜の利用者さんを見ていつも感じるのは、みなさん「楽しむことがとても上手！」ということです。私は、ギター伴奏だけで歌う、弾き語りスタイルで歌の時間を提供していますので、正直、迫りに欠ける、ちょっと寂しい演奏になることもあるはずなのですが、みなさん、いつも楽しそうに、一生懸命一緒に歌ったり、踊ったりして下さいます。おかげで、毎回歌の時間はとても充実しています。

♪運動会・忘年会のときは特に、皆さん自主的に集まってきてくださり、大きな声で歌い、踊り、たくさん盛り上げて下さることに、いつも感動しています。利用者さんのサポートをして下さり、その場を一緒に盛り上げて下さるスタッフさんにもとてもとても感謝しています。

歌ってみたい曲があれば、なんでもリクエストしてみてくださいね。ご家族の方から「そういえばTVでこの曲が流れると体を揺らして楽しそうにしているなあ」などの情報も、とてもありがたいです。これからも末永く、一緒に、音楽を楽しんでいきましょう☆☆☆ よろしくお祈りします♪

## ヨガ

一般社団法人コトモット  
代表理事 池田有美

はじめまして。コトモット池田有美です。ヨガ講師として杜のこうさてんと創奏でお世話になっています。

実は、そうそうの杜とは9年の付き合いです。杜のこうさてんの前に運営されていたつどいの広場だんだんで、2013年から2017年の閉館まで4年間月1回親子ヨガを担当させていただいていました。その頃はまだ私がヨガの仕事を始めたばかりでした。だんだんでの親子ヨガを機に、多方面へと活動を広げることになった始まりの場所なのでとても感謝しています。

つどいの広場杜のこうさてんがオープンする際、前を通りかかり、たまたま荒川理事長に話しかけたのがきっかけで、再びお世話になることが出来ました。

現在、杜のこうさてんで月5回、『赤ちゃんと楽しむ運動やふれあい遊び』のグループ運営をしています。内容はふれあいマッサージ、リフレッシュ体操、歌で遊ぼうなど。私自身は、月2回親子ヨガと、産後のヨガトレを担当しています。コロナ前には手形足型アートもしていました。

他の講師と共に、親子のふれあいを通して愛着関係の構築や、運動（ヨガやストレッチ）を通して親の運動不足解消やリフレッシュ、また家庭での遊びの提案

などをお伝えしています。杜のこうさてんのスタッフさんはいつも明るく迎え

てくれ、部屋を広くスペースを空け準備をしてくださっています。また、子どもたちが機嫌悪くなった時は、抱っこしてくれ様子を見てくださるので、お母さんたちも講座に集中することが出来ています。

そして、創奏では月2回ヨガのクラスでお世話になっています。

こちらのクラスでは、ゆっくり身体を動かすだけでなく、音楽や歌に合わせてヨガのポーズをしたり、体幹をきたえるポーズを少し頑張っています。最初は横になっても緊張が解けなかったのに、最近ではリラックスがうまく出来るようになり、ヨガが始まるとすぐねむ~くなる方もいるほど・・・笑。



時には真剣に！時には笑いながら♪いつも楽しいヨガの時間を過ごしています。

ヨガのポーズやストレッチをクラスがなくても出来るようにヨガカードを作成しました。壁に貼ってくれているので、興味がある方は創奏の2階に見に行ってください。

私ごとですが、昨年 2021 年に一般社団法人コトモットとなり、城東区関目でつどいの広場うたたねの運営をはじめました。同じ地域でつどいの広場を運営することを周りの人たちが大丈夫か?と心配していたので、ドキドキしながら報告に行きましたが、荒川さん、真頼さん、山川さんに「よくやった!」と大きな拍手で応援してくださりとても感動しました。こうさてんのスタッフさんも利用者さんにうたたねの紹介をしてくれたり、分からないことを教えてくれたり、沢山協力していただき感謝しています。

蒲生の Kawasemi は夫もお気に入りのカフェで、在宅ワークの日には、杜の Shokudo のお弁当を楽しみにしています。杜のおかしやさんは友達へのお土産おやつに喜ばれるし、プライベートでもお世話になっています。友達から子どもが就労支援でそうそうの杜にお世話になろうかと思うと聞いた時も、「絶対いいところ!」とおすすめできるほど、今関わっている施設のどこのスタッフさんもあたたかく利用者さんに寄り添っていると感じます。地元との繋がりなどは私もこれから真似していきたいところです。

きっと荒川理事長のお人柄とその人柄に集まる皆さんが創り出す雰囲気の良さがそうそうの杜の1番の魅力だろうな～と感じます、

最後になりましたが、これからもそうそうの杜のスタッフの皆様、利用者の皆様、関わる全ての方のますますのご活躍とご多幸をお祈りします。

最後まで読んでいただきありがとうございます。



## そうそうの杜の皆さんと出逢えたこと

MAO

こんにちは。ダンス講師をさせていただいております MAO です。

まずは簡単に私の自己紹介から♪

私は兵庫県の姫路で育ちました。幼いころに父が亡くなり母は女手一つ私と姉を育ててくれました。ひどい反抗期で道にそれかけたこともあったりなかったり（笑）、母には心身ともに苦勞をかけました。

私は自負するくらい運動神経だけはよく（昔は）、体育だけは常に成績もよく、高校卒業後は体育の道を選びました。中学校の体育教師を目指し、教員免許を取得しましたが、免許取得と同時に始めたことが「ダンス」でした。ダンスがしたいので教師になることはあっさりやめ、ダンスといえぱとりあえずアメリカへ行くか♪と、軽い気持ちで数週間ですがすぐに海外へ行きました。

そこで得た物はとても大きく、そこからはまたダンスに没頭する日々でした。今は、現役で舞台に立つことはやめ、楽しみながら教えることに専念しています。

そして3年前、ご縁があり杜のこうさてんでダンス、体操のレッスンをさせていただくことになり、そこで荒川さんと出逢いました。

そして荒川さんに各施設の紹介をしてもらいました。

それぞれの施設に愛情を持って接しておられ、話を聞かせてもらっていると胸が熱くなったのを今でも覚えています。というのも、私には障がいを持つ親せきがおりました。私の母は多忙で、私はいつも祖母の家に預けられており、そこで障がいのある親戚も一緒に暮らしていました。

知的の障がいもあり、普通には歩けず、耳も聞こえないため会話はいつも手話で話していました。私にはその環境が普通でしたが周りからはいろいろ言われることもありました。でも小学生の私にとっては一番の理解者でした。

そして、実は姉も寝たきりで施設に入っており今もこれからも介護を要する生活です。なので、そうそうの杜という場所に出逢えたことは私にとってどこか必然で、とても大きな存在です。

表現が合っているのかはわかりませんが、各事業所の利用者の皆さんがとても愛おしく思います。

ただ、私は週に1回や隔週の短時間事業所に行かせてもらっているだけなので、日々のスタッフの皆さまの大変さを想うと頭があがりません。

断片的に見えている大変な一部分だけでも、スタッフの皆さんは一つ一つ問題に丁寧に向き合っておられ、そうそうの杜のスタッフさんは素晴らしいなといつも思います。そしてス

スタッフの皆さんから学ばせてもらうこともたくさんあり感謝しています。

コロナ禍でなかなか思うように行事もできなかったり、もどかしい日々が続きますが、少しでもカラダを動かすことで、心は軽くなります。そしてダンスにも必要ですが『音楽』は人を元気にしてくれる力があります。

利用者さんだけでなく、スタッフの皆さんも疲れた時やストレス溜まったときほど、カラダを動かしたり、大好きな曲を歌ってみたり、好きな曲で適当に踊ってみたりしてくださいね♪

これからもぜひ一緒にカラダを動かして楽しい時間を過ごしましょう☆

写真は 3 年前のサルガク祭の写真です♪またみんなでイベントに出れる日を楽しみにしています☆



#### つどいの広場の栄養相談

えんじゅ 槇 敦子

第1、3火曜日につどいの広場で乳児の栄養相談を槇と達で担当させていただいております『えんじゅ』です。私どもの事業所は、日頃は鳴野西で地域の人々の食や文化を支えるということを軸に就労継続支援事業等を行っています。管理栄養士の資格を持つ者が4名（常勤3，非常勤1）、栄養士2名（利用者2）在籍しています。

管理栄養士のキャリアは様々ですが、つどいの広場を担当している槇・達とも管理栄養士として病院に勤務した経験があります。

病院に勤務していた時は、医師、薬剤師、看護師、栄養士等は、医療保険という枠の中で

患者に対してスタッフ→患者という【直線的かつ一方的（指導）】な構図で関わるが多かったです。

介護・福祉の世界に入ると、一緒に学んだり、話し合えるというようなスタッフ⇄訪問者の関係性が【球体】のようなイメージで展開され、寄り添うことができたり、広がりもでき、こちらの方が対象者の生活に密接な関係が築けると感じるようになりました。

つどいの広場の活動内容としては、子育て経験が豊富な達が中心になり、第1、第3火曜日に乳児の栄養の話をしています（3か月1サイクルの内容）。参加されるお母さんの食事に関する不安が少しでもなくなるよう個別の相談にも対応しています。その中で、つどいの広場があって良かったと感じて下さる方が一人でも多くいたら嬉しく思います。

また、職業柄、『食』の問題に関しては、色々思うことがあります。

今後、収入の格差が広がる中で（特に年金生活者）、低所得の方にも食事を楽しんでもらえるような仕組み作りが大切です。おごるぜチケットという生活困窮者支援のお弁当もコロナ禍で延べ500食以上支援していますし、ランチタイムの定食も低価格帯のものも常時あります。生きていくのに必要な食事と思うように摂れない人に、自然な形で reach して食事を提供し笑顔になってもらえるよう、方法を模索しています。

また、食料自給率や農業の問題にも関心があります。

ここ10年で、エネルギーや世界情勢の関係で、輸入コストがかかったり、輸入が出来なくなったり…現場の農家も肥料の高騰、後継者不足…様々な問題が私たちの生活にも影響してくることが予想されます。

令和4年3月1日から、弊社は千葉県でも事業所を展開しています。

東京という大消費地が近いので千葉県は、農業、養豚、漁業などの農林水産業で全国トップレベルの生産をしている地域です。そこで地域の田園・里山風景を守る活動や本業の農家さんに匹敵するくらいの農業につかることで、深刻さを肌で感じながら、発信していけたらと思っています。

最後に。元気そうな私！難病を持っていることで、2度ほど死にかけたことがあります。死にかけた時、人と心を通わせた何気ない日常場面を思い出したのです。

そうそうの杜は、人と心を通わす場面をスタッフの方のご尽力（天然か?!）で沢山作っています。その雰囲気吸いに寄せられ、根暗な私も自然と明るくなります！

【球体】の雰囲気に引き寄せられ…、そうそうの杜の気概をモデリングして…、これからも『食』の問題に直面していこうと思っています。

つどいの広場は、集うよりハードルが低い、まさに交差点に存在します。

早く、コロナ禍が終わり交差点を通る人が増えるといいですね！

いつも有難うございます！！

## AROMA（芳香）THERAPY（療法）

～ふれあいアロマケア～

中島ゆきえ

専門学校で荒川さんにお声を掛けていただき『ふれあいアロマケア』として、そうそうの杜の活動に参加。今年で4年目になります。福祉は命の尊さ、重さと直に向き合う現場。アロマの癒しは役立つだろうか、喜んでいただけるだろうか？と過りましたが、皆さんの笑顔に触れるうちに不安は吹き飛び、今はアロマを通して福祉の現場に関われることに深く感謝をしております。

### ■アロマケアって何？

アロマセラピーは、芳香成分のある植物（葉、花、ハーブ、木、果実など）から抽出した精油を使う療法のひとつです。精油には、心と体、皮膚に役立つ作用があり、紀元前から人々の暮らしにも活かされています。例えば、血流を促進するローズマリーやユーカリ。精神的なトラブルにはラベンダーや柑橘類。殺菌、消毒、抗菌作用のあるティーツリーやパルマローザ（新型ウィルスが弱化するアルコール成分を含み感染症の対策に有効）など。これらの作用は、免疫力を向上させてくれます。主に、植物オイルに数種の精油をブレンドして、首、肩、腰、足などにアロマトリートメント（施術）をしています。

### ■スキんシップと深呼吸

胎内で、脳と神経、皮膚は同じ外肺葉から分裂。つまり、皮膚を温め包み込むように優しくタッチングすることで、脳や神経にもそれが伝わると言われています。ソーシャルディスタンスを考慮して、あまり長い時間近づけないのが残念ですが、少しでもホッとリラックスしていただければと思います。

また、感染症対策として外出にはマスクが手放せない現状。マスク内では十分な呼吸数と酸素量（空気中の酸素量21%⇒マスク内18%）を脳や体内に送り込めないため、頭痛や肩こり、倦怠感、認知症の悪化などのリスクを伴うと言われています。植物によりますがアロマの香りは、ヒトや動物には心地良く、意識をしなくても呼吸が深くなり、少しでもリスクを軽減できると考えます。アロマケアを受ける人だけでなく、その場にいる人にも香りの成分は届くので、アロマの空間を楽しみながらケアにつながればと願っています。

### ■子育てママのためのアロマケア

「杜のこうさてん」では、子育て支援として毎日多彩なイベントが開催されています。私は、子育てをされているお母さんへのアロマケアをさせていただいています。子育て、家事など日々奮闘されているお母さんは、肩こり、腰痛に悩む方が多いと実感します。部分的なオイルケアで疲れを優しくほぐします。そのほか「おうちでプチアロマ」として、香りのボディ

ーソープなどを作って、おうちでも香りのケアを楽しんでいただいています。

### ■ふれあいアロマケア

「庵」と「いま福の家」では、利用者様のご希望やその方の体調をお聞きして、アロマケアをさせていただいています。楽しみにしてくださる方もいらしてうれしいです。

スタッフの方々が明るくて爽やか♪「楽しかった”また来たい”と、帰る時に思っていただけることを大切にしています」はじめて訪問した時にお聞きして、意識の高さを感じました。癒しに行ってるのに、毎回私まで癒されて帰ります（感謝）。

これからも、心身の健康につながる「ふれあいアロマケア」を届けていきたいと思ひます。



### 関宏之さんのエッセイ

②

### 「水先案内人」

#### 自然の人

入社試験で、ある受験者が「私を採用したら得ですよ！」と申って退出した。成績は芳しくなかったが迷った挙句に採用した。彼女は頑迷なところがあってしばしば先輩スタッフともめ事を起こした。古いスタッフをなだめながら2年も経ったころ、「知的障害の人には介護の仕事が向いています」と強くいいはった。私も同じ考えでそれなりに情報を集めていた。新たなコース創設に関しては、財源、指導方法、知的障害のある人を介護職として認定する法的根拠、応募方法など課題は多かつた。

身体の不調で3か月の入院を余儀なくされた時、彼女は帰り道だとい申って毎日見舞ってくれた。ただ「どうでつか！」と申うだけで、介護コースの話は全くしなかつた。

そんな折、補正予算を検討していた経理担当が、どうしても予算が消化しきれないので検討が必要だとい申う。とっさに「介護職養成課程」をスタートすべしと考へた。宮崎の介護職養成課程をもつ専門学校、富山のスタッフ以上に利用者の信頼を得ている知的障害のある介護補助員、神奈川でも養成課程を立ち上げようとして申っている集団があることなどを彼女



に告げ、訪問・調査して養成コースの全体像を作り上げること、最大の難関は知的障害のある人へのコース創設が認可されるかどうか、などを話した。

余りにも過重な課題で成否半々だと思っていた。しかし、半年で新しいスタッフの採用や養成コースの講師陣や教科書出版のメドをつけ、府より「訪問介護員（ホームヘルパー）3級講習会」の認定校として指定されそうだとの報告を得た。よくぞ！とねぎらったが、彼女はケロリとしてこれからですがな！とそっけない。

陣容を整えて10人の受講生を受け入れ、3か月の研修の後に全員が訪問介護員3級の認定書を手にした。わが国で知的障害のある人が初めて手にした有資格専門職の誕生である。修了式が終わる頃、メンバーの一人が声をあげて泣いた。難解で辛い研修をやり過ぎたという思いからだろう、嗚咽はすべてのメンバーに、そしてスタッフにも来賓の方々にも広がった。おいおいと泣いていたじゃじゃ馬は、彼ら全員の就職に奔走し、講座が軌道に乗った5年後に陸上競技への思いが断ち切れないとスポーツ施設に異動した。しかし、そこも先輩と折り合わず5年で退職した。

その後、彼女は児童デイサービスを興した。退職金や父からの遺産はほぼほぼ使い果たしたそう。突然にかしましい報告が入る。またダメですわ、もう潰れます、いいスタッフが採用できましてん、ホンマやってよかったですわ、保護者から訴えられましてん、利用している子どもたちの成長が著しいですわ、コロナに罹った利用者が出ましてん。嬉しい時も悲しい時も危機の渦中にあってもにぎにぎしい報告が入る。

介護コースは継続され、100名以上の人たちが終了し、介護の現場で働いている。私とは言えば、今も、養成講座の講師を務めている。

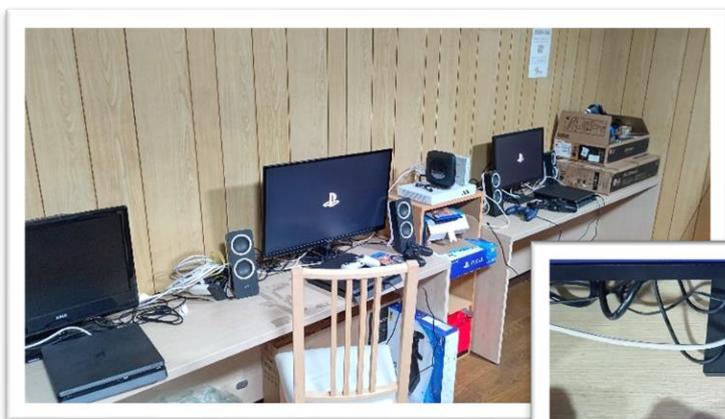


## そうそうの杜 E-Sports 部が発足いたしました！

澤崎 拓磨

そもそも e スポーツとは何か？明確な定義とは少しずれてくると思われるが、ここでは、“競技性のあるコンピュータゲーム”という認識でいていただけるとよい。ものによっては競技性が高く、とっつきづらさも感じるものがあるが、腕前さえ問わなければ、参入するハードルはせいぜいコントロール操作ができるかといった点しかない。その上で、個々のプレイヤーが置かれる状況やルールはゲームの方で均一化してくれている。(操作精度等で差異が生じる部分があるが、少なくともゲーム開始時点で、障害があろうとなかろうと扱うキャラクターのゲーム的な性能は同一である) 実際に考慮しなければいけない点は多いだろうが、e スポーツというジャンルは障害者と健常者の差が(比較的)埋めやすい場なのである。また、すべてゲームにはルールがあり、それを理解しなければ遊ぶことはできない。その反面、しっかりと理解さえすれば、ルールの運用はゲーム側がしてくれるので、あいまいな要素が少なくなる。また、一人用のものを除き、ほとんどのゲームが誰かと一緒に遊ぶようにできている。ゲームのプレイを通じて交流の場を広げていく一助にもなる。

以上の利点を鑑み、本年度そうそうの杜でも E-Sports を立ち上げた。毎週月曜日 18 時よりリアンの杜二階にて楽しく遊んでいるので、興味のわいた方はぜひ一度見学に来てほしい(\*'ω'\*)



## 安全衛生委員会

出口 祐也

そうそうの杜では職員や利用者の健康管理等について話し合う場として安全衛生委員会を開催しています。

参加メンバーは

- そうそうの杜 理事長 荒川 輝男
- そうそうの杜 理事 真頼 正施
- そうそうの杜 理事 山川 真司
- そうそうの杜 看護師 岸上 泰代
- そうそうの杜 安全衛生管理者 出口 祐也
- 産業医 正木 恭子
- 社会保険労務士 山岸 敦子

以上7名で3ヶ月に1回の間隔でそうそうの杜の本部にて開催しております。

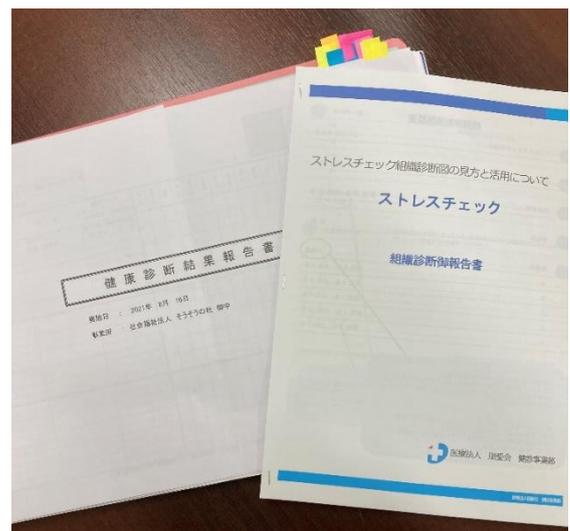
今年度は5回安全衛生委員会を開催しましたが、内容としてはコロナに関することや健康診断などが主な議題となっています。

コロナについてはワクチンの接種状況の確認や法人内の感染状況の報告などを行っています。他にもコロナに感染した人や濃厚接触者、また学校がコロナにより休校のため保護者として子供の世話をしなければならなくなった人など業務をコロナにより休むことになった人たちに対しての助成金の申請などについても話し合いをしています。

健康診断では日程や受診者数などの確認を行っています。また健康診断と同じタイミングでストレスチェックも行っており、健診をしてもらっている医療法人朋愛会の方に来ていただき結果や内容について説明をうけています。

インフルエンザワクチンの接種についても話し合いを行っており、利用者分に関しては産業医の正木先生にワクチン確保や接種の依頼をしています。

他にも女性活躍推進一般行動計画などについても話を行っていますが、コロナがなかなか収束しない現状としては今後も安全衛生委員会ではコロナについての話が議題の中心になりそうな気がしています。



## ヒヤリハット会議について

板見 善子

参加者：大竹（相談）・橋本さ（とことこっと）・山縣（とことこっと）  
水谷（庵）・板見（つむぎ館）

2021年11月からヒヤリハット会議を開催することになりました。新型コロナウイルス警戒期間もあり、実際はまだ2回の開催です。

各部署で、車両や服薬ミス等の事故報告は毎月のようにあります。その事故を未然に防いでいくにはどうしたらいいのか？ということ、何故事故が起こるのか？ということがあります。しかし、事故報告は上がってくるけれど、ヒヤリハットがなかなか上がってこないのが現状です。

「1件の大きな事故の背後には、29の軽微な事故があり、その背景には300のヒヤリハットが存在する（ハインリッヒの法則）」とされています。事故を未然に防ぐためにヒヤリハットは重要な情報となってきます。

初回会議では、ヒヤリハットを各々がどのように捉えているのか？というところからスタートしました。危ないと思った、事故には至らないがヒヤッとした・ハッとしたことが「ヒヤリハット」ということは共通していました。しかし、その「ヒヤッとした」「ハッとした」とするということは一人一人異なります。そして、同じようなヒヤリハットが無くならないと、そこに大きな事故に繋がる問題や危険が潜んでいるということとなります。その為、ヒヤリハットの情報をできるだけ多く収集していくことが必要です。事業所の報告を見聞きすることで、自分の事業所でもどうか？と考えるきっかけにもなります。

何よりも「報告すると上司から何か言われるかも」「上司に対して指摘しにくい」等がヒヤリハットを出しにくい原因の一つにあると思われます。ヒヤリハットや事故報告というネガティブな内容というイメージがあります。ヒヤリハットは、決してスタッフ個人を責めるものではありません。「重大な事故を未然に防ぐための情報」です。多ければ多いほど、たくさんの「気付き」があるということです。

できるだけ多く「気付き」を増やしていくこと、その「気付き」は危ないなということだけでなく「いいな」と思うことや「頑張っているな」ということも、たくさん気付いてくことができるようにと思っています。

## 高齢者の未来を考える会

林 直輝

「そうそうの杜はすべての人がその人らしく生き生きと暮らせる地域と社会を創っていきます」これがそうそうの杜の理念であり、スタッフの大きな指針です。勤務する事業所に関わらず、全てのスタッフが利用者が地域で暮らし続けることができるように日々関わっています。

そんな中、生活の場を外部資源に託さざるを得ない高齢のケースが出てくるようになってきました。関わっているスタッフの中にはそのことに対して、あるいはその人に対してやるせなさや負い目を感じている人も多いと思います。中には「敗北だ」と考えるスタッフもいます。外部に出さざるを得ない状況になって初めて生活の場を考えるのではなく、そうなる前に法人全体で考えていく必要があるということで、2020年の8月から毎月話し合いを重ねていくことになりました。

まずは介護保険対象の人をリストアップし、現状の確認を行いました。その後、なぜ外部に託したのかを考え、身体面や経済的事情、そうそうの杜としての受け入れ態勢等の条件表を作成し、その表にそれぞれの現状を当てはめていきました。この作業から、内部で関わっていけるか・外部に託すかは「宿直者のいる環境かどうか」ということが分かってきました。

また、利用者との日々の関わりの中で、「今の話」についてはするが、「今後の生活の場をどうしていきたいか」「老後や亡くなった時にどうありたいか」といった長い時間軸での話をするのはほとんど無いということも浮き彫りになってきました。これについては昨今よく聞く終活で利用されるエンディングノートを活用し、前向きに今後のことを話をしていく機会を作っていくということになりました。聞き取りをしていると思わぬ一面を知ることができたり、「もう全部そうそうに任せます」と絶大な信用を寄せてくれているのか、一切考えていないからそういっているのか分からない人もいたりしました。しかしやはり普段話をしない、むしろ避けて通るような「死」についての話をするのは貴重な時間だったと感じました。

では「宿直者のいない環境の人」をどうしていくのかということに関しては中々解決できず、新しい資源を作ろうにもそこに割く人材がないのではないか、と堂々巡りをし、話の進展が無い状況が続く、個別のケースの動きについて検討していくということが多くなっていきました。しかしそれでは結局一部のスタッフだけが考えて動くという従来の動きと何も変わらないことになってしまうので、会の在り方を根本から考え直すことにしました。結果として、高齢者という括りで始めたものの、行きつくところは誰しも同じなので「地域生活者の未来を考える会」ということで年齢の括りなく、もっと広い視野で話を進めていくということになりました。

この会で話したことは全体会議の場で全体に発信し方向性を示し、現場は現場で想いを挙げるという形で進めていくのが理想です。

今後の動きについては

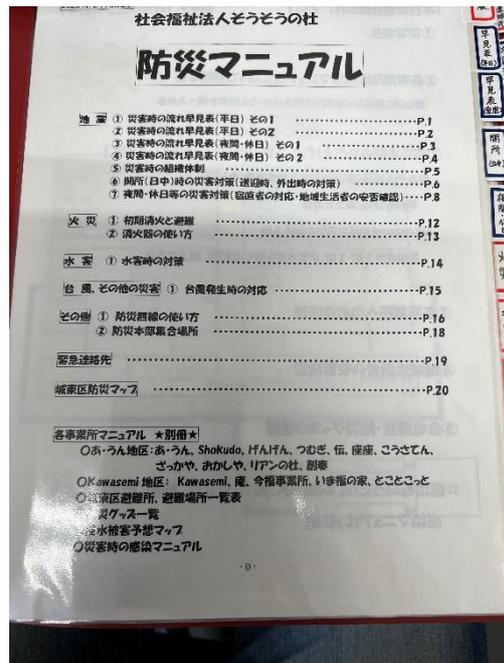
- ・各事業所から今後、家を出て生活をしていく必要のある人をリストアップし、検討していく（リストアップすることで意識の底上げを図る）。
  - ・1年に1回でも本人・家族と現状や将来の生活の場について話をする機会を設けていく。送迎の合間や電話ではなく、個別支援計画の説明時に時間を作ってしっかり話をしていく（聞き取りをすることで家族の想いに触れる）。
  - ・利用者や家族が今後の生活をイメージしやすいように下宿屋の見学会を行う。
- ということを全体に提示していく予定です。

相談支援で外部資源と関わっているとハッとさせられることもあり、個人的には外部に託す＝悪いこととは捉えてはいませんが、そうそうの杜で最後まで関わっていくんだということはスタッフの基本姿勢として持っていて欲しいと思います。その想いを少しでも強くする、あるいは広めるきっかけを作ることのできる会にしていけたらと考えています。

そうそうの杜は法人全体で災害に対しての取り組みを行っている。各事業所から防災委員を一名選出し災害に対しての知識をより高め未曾有の事態（今後 30 年以内に、南海トラフ地震が発生されると言われています。地震の規模はマグニチュード 8~9 クラス、発生確率は 70~80%と非常に高い確率で報道されています。）に備えている。

防災委員メンバー

- ・ 座座 . . . . . 中世古
- ・ 庵・いま福の家・田島
- ・ 今福事業所 . . . 手塚
- ・ 創奏 . . . . . 澤崎
- ・ Shokudo . . . . . 小澤
- ・ げんげん . . . . . 西脇
- ・ 伝 . . . . . 中村
- ・ つむぎ館 . . . . . 高橋
- ・ とことこっと . . 栗田
- ・ 相談・就ポツ . . 田島



防災訓練をマニュアルに沿って毎月 1 回行い、訓練の後は防災委員が集まり訓練内容（地震、水害、火災）に応じて、検証、検討している。また、体制が代われば訓練方法を見直し変更、防災委員が各事業所に持ち帰り報告している。また、防災グッズ、非常食に関してはすでに備蓄しているが必要に応じて買い替え、購入している。



## いま福の家 第5回運営推進会議

## 【会議メンバー自己紹介】

今福南連合町会会長	上島 博 様
担当地域包括支援センター	丸山 陽平 様
利用者代表	朝川 伸一さん、渡辺 敏治さん
そうそうの杜理事長	荒川 輝男
理事	真頼 正施
理事	山川 真司
	川内田 和昭
そうそうの杜ケアマネージャー	徳岡 信
そうそうの杜スタッフ	田島 直人
いま福の家管理者	四宮 泰代

## 【あいさつ】

社会福祉法人そうそうの杜 理事長 荒川 輝男

## 【利用状況】12/1 現在

登録15名（支援1/4名、支援2/1名

介護1/1名、介護2/2名、介護3/2名、介護4/0名、介護5/1名）

共生型生活介護登録9名（うち介護保険との併用5名）

利用中止2名（他事業所移行2名 K.M、T.K）

月	要支援	要介護	障害利用	併用	延人数	稼働日数	稼働率	備考
12月	5/32	7/127	6/58	3	247	26日	95.0	
1月	5/28	6/118	6/37	3	227	24日	94.6	
2月	5/31	6/116	6/56	3	230	24日	95.8	
3月	5/33	6/116	6/57	3	241	27日	89.3	
4月	5/31	6/83	6/54	3	196	26日	75.4	
5月	5/28	5/78	7/57	3	196	26日	75.4	
6月	5/31	5/82	7/55	3	201	27日	74.4	
7月	5/31	5/79	7/55	3	204	27日	75.9	
8月	5/30	5/83	7/77	3	211	26日	81.2	
9月	5/29	6/103	7/80	3	227	26日	87.3	
10月	5/24	6/105	9/90	5	238	26日	91.5	
11月	5/21	6/107	9/84	5	233	26日	89.6	

### 【稼働状況】

稼働率は75～95%、ほぼ既存のそうそうの杜事業所から移行した利用者登録人数の5割は共生型（障害福祉）  
地域からの利用者はほとんどなし。（地域密着できていないのが現状である）

### 【検討内容】

（いま福の家）

- 今福南地域とのつながりを深めたい。
- モルックやボッチャを通して地域の人達と交流したい。

（地域包括）

- 高齢者はコロナの影響で集いの場がなくなり行き場を求めている
- 数年ぶりに開催したスマホ教室はすぐに定員オーバーした。
- 入院して要介護状態であっても退院後すぐに介護保険がおりないので、デイサービスの体験で入浴してしのいでいる。

（今福南連合会）

- 今福南地区は城東区内で高齢化率 No.1（高齢者施設があるため）
- 営利目的でなければ憩いの家を貸すことは可能。
- 100歳体操のときに人が集まるので、そのタイミングでモルックやボッチャ、歌の紹介をするのはどうか。また、グランドゴルフのセットは2、3つ貸し出せるのでいま福の家の利用者がグランドゴルフをするのはどうか（会議後電話にて、連合会の会議にかけるので動けるのは4月か？）との事。

（そうそうの杜）

- いま福の家に週一回音楽の先生が来ているので、憩いの家が空いていれば、憩いの家で地域の人も交えて歌ってはどうか。
- 利用者でなくても入浴だけしてもらってもよい。

## 関宏之さんのエッセイ

③

### 「水先案内人」



#### ③ おおさかのわらべうた

「僕たち大阪の子供やでエ」という歌をご存知でしょうか。就労支援の全国大会を大阪でもった時、“大阪のわらべうた”として披露し参加者全員で歌いました。よほど皆さんの琴線に触れたようで次の日も多くの方が口ずさんでいました。

歌詞は3番まであり、イントロの“チャチャチャ”に続いて次の口上（フレーズ）を歌います。

「ボクたち大阪の子どもやでエ  
町中のことなら何でも知ってるでエ  
すみからすみまで路地の裏までエ  
ボクらの遊び場広いんや」

そして1番、2番、3番の歌詞が続きます。

#### 1番

あのねエボクねエ言うたろか  
お菓子屋さんのとなりの子  
一人で電車に乗りやって  
大和川まで行きやって  
暗くなるまで魚取り  
おまわりさんにつれられて  
泣いて帰りやった

#### 2番

あのねエボクねエ言うたろか  
動物園も知ってるで  
通天閣かて知ってるで  
大阪城も知ってるで  
生駒山かて知ってるで  
せやけどまだなア自転車なア  
うまいこと乗られへん

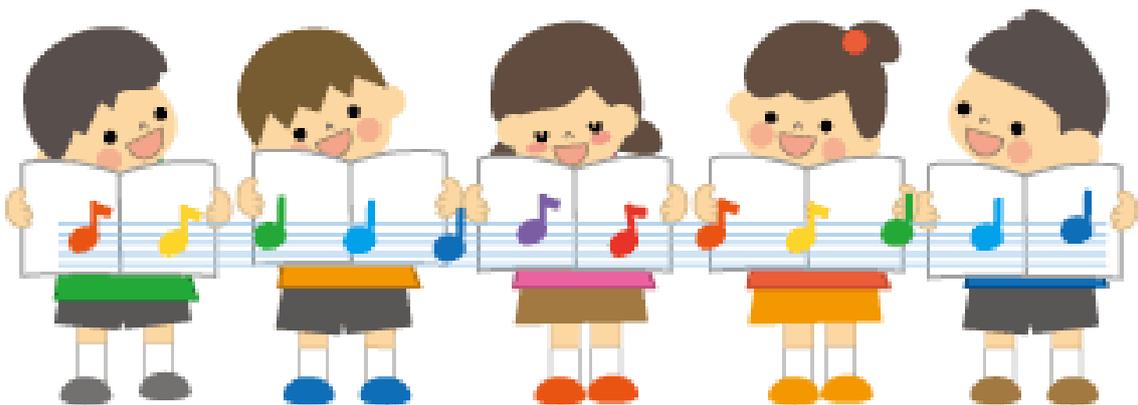
### 3番

あのなァ私なァ言うたろか  
貸本屋さんのキミチャンなァ  
いつでも髪をひっぱって  
お地蔵さんの所から  
私らママゴトやってんねん  
一人でじーっと見てやんねん  
なんでやろ おかしいなあー

1976年10月～11月に「NHKみんなのうた」で紹介されたもので作詞・作曲は1967年にフォークグループ“五つの赤い風船”を結成した大阪出身の西岡たかしさんです。

私がこの歌を最初に聞いたのはかれこれ30年も前のことです。頻繁に聞いたわけではありませんがジェスチャー交じりの独特の歌い方は今も記憶に鮮明です。歌ったのは若いころの“そうそうの杜”荒川理事長です。地域の子供たちや路地のにぎわいが聞こえてくるようで、そうそうの杜の今につながります。

スタッフや利用者の方々は聞いたことがありますか。また聞きたいな・・・



## ミャンマーの情勢について

ソー・アウン

ミャンマーでクーデターが起きて1年が経ちました。

ミャンマーの状況はもっと酷くなっています。今まで25ぐらいの村が軍に攻撃を受け火事になって村人達は困難な生活を送っています。一番酷い場所は、チン州、カヤー州、ザガイン地区という所です。

ザガイン地区のカレー町で、親子6人のうち母親と娘2人が軍に捕まえられ、性的虐待を受け火をつけられて殺されました。残った父親と10歳以下の息子2人は避難しているというニュースが2022年2月24日、ミャンマーのメディアでありました。また、同じ日に違う村のCDM(市民的不服従運動)に参加した5人、女性2人と男性3人が残酷なやり方で殺された。そのニュースは一部メディアで見られました。

最近一番酷いのが、外国からサポート・寄付を受け、運営している人達を軍が探し出し、捕まえた人をスパイにさせてグループ全員を捕まえようとしています。その寄付金も軍が奪い、必要な場所に届けないように厳しく監視している。

先月、ザガイン地区とマゴェー地区でCDMをサポートしている人達が自宅にまで侵入され殺された。

ミャンマーは、全国的に毎日停電している時間が多くなってきています。インターネットも電話も切られて海外とやり取りできないように厳しくしています。電気が欲しいなら高い金額を払えば付けると言うが、実際は払っても払わなくても電気は切られたままの時間が多。

今まで避難している国民の数は3倍くらいに増えています。それに、国軍がヘリコプターを使って全国のあちこちで大々的な空爆で村を狙っているニュースは毎日のように見られます。

今は、日本政府が外国人留学生や実習生の受け入れを再開しつつありますが、ミャンマーから飛行機も飛んでいないし、入国管理局も手続きができない状態が続いています。うわさでは、飛行機代が、日本までの片道料金が前より10倍ぐらいになっています。

それでも国から早く出たいと思っている人がたくさんいて、つらい気持ちを持ち続けている。何とかミャンマーが平和になるように、皆様からもたくさんのサポートをしてほしいです。これが僕の気持ちである。

# 軍事クーデターが発生した

# ミャンマーでは、今も尚 市民が人道的な支援を

# 必要とされています。



2月1日に発生したクーデター以降、軍事独裁政権を阻止しようと国民が抵抗運動を続けています。

しかし、国軍は実弾を用い、平和な抗議活動をも徹底的に弾圧。1178人の犠牲者と、7341人の逮捕者が出ています（10月15日時点）。半年以上、公務員や医療関係者は抗議のためのストライキ＝“CDM(市民的不服従運動)”を命懸けで続けています。彼らへの、早急かつ中長期的な支援が大きな鍵となります。

これまでに、街頭募金や銀行振込等  
合わせ、日本のみなさまから総額  
**12,682,577円**  
のご支援を現地に送らせて頂きました。

## 今、できること

### 「One-To-One Save Myanmar campaign」

市民から市民へ～ミャンマー人道支援キャンペーン～



医療物資  
生活物資の  
援助を！

世界中の市民  
1人1人からの支援を



国内外に持つ  
ネットワークを通じ、  
ミャンマー市民へ直接送金します



#### —現地からのメッセージ—

CDMを続けるミャンマーの公務員・職員に対し、支援をしてくださる寄付者の皆さんに、心より感謝申し上げます。公務員・職員はそれぞれの信念に基づき、軍事独裁者への反対活動を続けており、このように支援して下さる方々の存在は大変心強いものです。勝利する日まで、CDMを続けていくことを改めて誓います。

CDMとは？ミャンマーで何が起きているの？

裏面に続く▶

#### International Society of Myanmar Scholars & Professionals (ISMSP-MM)

国際ミャンマー学者・専門家協会 (ISMSP-MM) は、世界中の様々な地域のミャンマー人学者および専門家で構成されています。ISMSPの目的は、現在のミャンマーにおいて憲法を違反し成立した軍事政権による国民への人権侵害と闘い、民主主義と法の支配を取り戻すことです。私たちは皆、武力に裏打ちされた国軍によるミャンマーの物理的および政治的支配に反対しています。

#### これまでの支援について

私達は、ISMSP-MMが国内外に持つ独自のネットワークを通じ、日本から集まった支援金を国内で生活に困窮するCDM公務員（裏面参照）に直接送金してきました。また、紛争の発生により医療物資が不足している地域への物資支援、設備資金の支援も行っていました。先行きの見えない混迷が続く中、日々を生きるミャンマー市民の生活を支えるためには国際的な支援が必要です。皆さまのご理解とご協力に心より御礼申し上げます。

#### サポーターになる

1対1で公務員への継続的な支援を行うサポーターを募集しています。詳しくは右のQRコードから▶▶  
※googleフォームを送信頂いてお申し込み可能です。折返し、担当者よりご希望の連絡方法でご連絡させていただきます。



#### 手軽な寄付をする

少額からのご支援も受け付けています。BRCJ（日本ビルマ救援センター）を通じて、全額当キャンペーンへ送金いたします。BRCJは、30年以上に渡りミャンマー（ビルマ）の民主化・国境の難民支援活動を続けてきたNGO団体です。

りそな銀行 金剛支店（普通） 6553928 口座名 日本ビルマ救援センター  
※左記アドレスまでお名前とご住所をお知らせください。▶brcj@syd.odn.ne.jp  
ご希望の方には領収書をお送りいたします。



写真：北角裕樹



International Society of  
Myanmar Scholars &  
Professionals



日本ビルマ救援センター



ミャンマー（ビルマ）の民主化を支援する  
関西学生ネットワーク



# 軍事クーデター後の市民の闘い

2021年2月1日



**軍事クーデター!**  
軍が不当に政権を奪った!!

民主派は主に  
3つの手段で  
抵抗

- ① 抗議デモ (不服従運動)
- ② CDM (不服従運動)
- ③ CRPH (政治組織)

① 抗議デモ... 軍の弾圧が過激になるにつれ、デモの形が変化

**2月 <非暴力>**

We want democracy!

発砲

逮捕

催涙弾

軍の弾圧により  
死亡 730人  
逮捕 3152人  
(4月17日時点)

**2月末~ <命がけの自衛戦>**

これ以上  
命を奪われれば  
でも、抗議は  
やめない!!!

危険を冒してデモ  
続けている人も...

**3月半ば~ <無人デモ>**

NEXT ⇒ CDM(市民的不服従)

# CDM(市民的不服従)

不当な権力には従わず  
軍政を機能不全に...

公務員による職場放棄

教師

医療者

鉄道職員

市民がサポート!

銀行

警察

逮捕

官舎からの  
追い出し

拘束

軍に追われ  
インドに逃げる...

We support  
CDM Heros!!

食パン

ラシュタ

不買運動

買いません

買いません

法令無視

税金払え

軍政を批判するな!

職場に戻れ!

集会禁止

従わないければ  
処罰だ!

NEXT ⇒ CRPH(臨時政府)

抗議活動③

# CRPH (クーデター前の選挙で当選した 議員たちのグループ)

4月16日  
軍政府に対抗し  
新しい政府を  
樹立!!

反逆罪を指名手配

テロリストと  
認定

軍政府

私たちが選んだ  
代表はCRPHだ!!

市民

軍は私たちの政府じゃない!!

**CRPHの主な活動**

① 少数民族と連携し連邦国家をつくる

それぞれの州に自治権を保証

少数民族の武装勢力と  
連携

連邦軍の創設

② 新しい暫定憲法を発表

軍の政治的介入  
を正当化する  
2008年憲法  
を廃止!!

2008年憲法

軍を政治の場から  
追い出す!!

③ 国際社会へのアピール

Dr. ササ  
CRPHが連邦に  
国連特使

UN

ミャンマー市民を助け!

NEXT ⇒ 軍による民主派の弾圧...

# 軍は民主派を徹底的に弾圧...!!!

市民の虐殺拷問逮捕

頭部を狙った  
銃殺...

拷問を受け  
傷だらけの遺体...  
(臓器売買の噂も...)

焼殺...

夜間逮捕!

子ども  
標的に...  
少なくとも  
50人...

ネットの遮断

情報 x  
SNS x

軍に何をされても  
知らせることができない

空爆

多くの  
避難民が...

メディアの3弾圧

民間の新聞  
テレビニュース  
ライセンス  
取り奪

国営メディアのみに...

法の制定改定

政府への不信をある罪  
社会を不安に陥れた  
として最高で死刑!

夜間外出・集会禁止令

NLD・スーチー氏の排除

次の選挙では  
軍が勝たせたい...

解体させたい

選挙に出さない  
お有罪に...

手帳 NLD  
(国民民主連盟)

アウンサン  
スーチー氏

ミャンマー  
市民の声

メディアもネットも止められた今、私たちの声は  
届かなくなるでしょう。でもどうも志をなげません。  
私たちは自由をあきらめず、闘い続けています。  
皆さんと一緒に声をあげてくれることが、私たちの希望です。

## あなたの寄付が大きな力になります

いま、私たち一人一人にできることから。  
「未来の世代のために」闘い続けるミャンマー市民へ、  
温かいエールと共に。

りそな銀行 金剛支店 (普通) 6553928 口座名 日本ビルマ救援センター

※左記アドレスまでお名前とご住所をお知らせください。▶brcj@syd.odn.ne.jp  
ご希望の方には領収書をお送りいたします。

真の民主化が実現されるまで  
ビルマの人びとの平和と未来のために



## BRC-J ふれんず 会員募集中

みなさまのご参加をお待ちしております

年1回、6,000円のご寄付でビルマ難民支援活動を資金面で支援する会員制度です。国境訪問にご参加いただけます。活動報告をお知らせいたします。ぜひご参加ください。「ふれんず」への参加申し込み、お問い合わせなどはメールまたはFAXにて承ります。

お名前、ご住所、連絡先、Eメールアドレスをご記入の上

- BRC-J ふれんずに参加します
- BRC-J メールマガジンを登録します
- ビルマ難民支援金を寄付します
- パザーなどのイベントの手伝いをします

など、ご協力いただける内容をお知らせください。

## 難民支援にご協力ください

DONATION  
支援の  
お願い

【郵便振替】  
番号：00930-0-146926  
名義：BRC-J  
【りそな銀行 金剛支店】  
口座：6553928(普通)  
名義：日本ビルマ救援センター

※領収書をお送りいたしますのでメールまたはFAXで連絡先をお知らせください。

ビルマ関連 NGO サイトもあわせてご覧ください。

- ◆ビルマ情報ネットワーク：<http://www.burmainfo.org/>
- ◆ビルマ市民フォーラム：<http://pfb-japan.org/>
- ◆メータオクリニック支援の会：<http://japanmaetao.org/>
- ◆フオトジャーナリスト宇田有三さんのWEBサイト：  
<http://www.uzo.net/>

## 日本ビルマ救援センター (BRC-J)

〒536-0025 大阪府城東区森之宮 2-2-8-609  
FAX：06-6967-7828  
URL：<http://www.brcj.org> / E-mail：[brcj@syd.odn.ne.jp](mailto:brcj@syd.odn.ne.jp)

1988年、軍事政権を批判し、民主化を求めて立ち上がったビルマ(ミャンマー)の人びとを待ち受けていたのは、市民、学生、僧侶ら数千人の死傷者を出した軍による冷酷な弾圧でした。日本ビルマ救援センター(BRC-J)は、当時ビルマに滞在し、この惨事を目撃した仏教徒のカワサキ・ケン、ヴェイサカ夫妻が取り組んだ病院への募金活動から始まりました。

当センターは20年以上にわたり、困難な状況下でも民主化活動を続ける人びと、軍政の残虐な民族迫害政策やゲリラ戦によって土地や持ち物を失い、生命の危機に直面している人びと、タイに逃れて苦しい生活を続ける人びとを物心両面で支援しています。

BRC-Jの活動は多くのボランティアと寄付によって支えられており、お預かりした寄付金と、物品販売での収益を支援に活かすため、最大限の努力を続けています。

近年、ビルマの変化は著しく、民主化が進み、すべての人々に平和な暮らしが戻ったような報道がたくさんされています。しかし、報道されていない国境地域での国軍による攻撃や略奪、強制労働、強制移住が今も続いています。難民キャンプに暮らす人々が故郷に帰還するめどもまだ立っていないなか、偏った報道によりドナーが国内支援に変更するため、国境地域の難民を支援する団体の多くは資金難に陥っています。

皆様のご参加をお待ちしています。



ビルマの現状は  
民主化からは程遠い。  
強制労働、強制移住、  
性暴力、略奪など  
多くの人権侵害が  
今も行われています。

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀

「文民政府」といっても、元陸軍大将である大統領の他、大臣30人のうち26人が軍出身者だ。国会でも、上下院の8割以上を軍出身者が占める。議席の25%は選挙の対象外の軍人枠である上、不正まみれだった2010年の総選挙で前軍事政権の翼賛政党が圧倒的勝利を収めたからだ。さらに憲法には、非常事態時に国軍最高司令官が全権を掌握できる規定もある。憲法改正も、国軍の合意なしでは不可能に近い。法の支配や司法の独立は確立されていない。政府は「政治囚ゼロ」を宣言したが、実際には全国の刑務所に政治囚が残る。また「和平合意」の報道とは裏腹に、辺境地域では国軍による少数民族の迫害が続く。

新政府発足後も国軍が実質的な支配権を握るといふ構図に変わりはない。国軍にとっても重要なか地位の確保と既得権益の保持という点も同じだ。ただ一つ軍政時代と異なるのは、国民の不満や反抗を武力だけで抑えるよりも、国民や国際社会に「民主化する姿勢」を強調し、不満や反抗の爆発を未然に防ぐ方が利益となると判断した点だろう。

他方、国際社会では豊富な天然資源を有するビルマへの経済進出の動きが急だ。だがこのまま開採や工業化が野放図に推進されれば、人権侵害と環境破壊がさらに深刻化する恐れも大きい。

あなたの  
支援で  
できること

**1ヶ月分の  
500  
円のご支援で**



ビルマ国内の孤児院の子ども一人に1ヶ月分のお米を届けることができます。

**毛布を  
3枚  
1,000  
円のご支援で**



国際支援が届かない国境のシヤン難民キャンプに毛布を3枚寄贈できます。

**本30冊  
3,000  
円のご支援で**



タイ・ビルマ国境の難民キャンプ図書館に本を30冊寄贈できます。

**先生6人  
70,000  
円のご支援で**



難民キャンプの学校で先生を6人雇い学校を1ヶ月運営することができます

**建物1棟  
30,000  
円のご支援で**



難民キャンプで織物プロジェクト用の建物を建てることができます

難民支援  
プロジェクト

難民キャンプや、移住労働者の暮らす地区にある学校の運営と活動を支援しています。



教育・文化  
識字支援

山間部に位置する難民キャンプに毛布や暖かい衣服を提供しています。



毛布・衣服の  
提供

関西を中心にイベントへ参加し、ビルマの現状を伝えています。



国際フェスティバル  
出演

年2回、難民キャンプなどを訪ねプロジェクトの見学や、意見交換を行い問題への理解を深めています。



タイ・ビルマ  
国境訪問

難民女性が伝統的な手法で織った織物をカバンやシャツなどに縫製してもらい、バザーで販売しています。



織物  
プロジェクト

ビルマ問題の専門家を講師として迎え、様々なテーマで学習しています。



学習会・講演会  
報告会の開催

# 日本ビルマ救援センター

BURMESE RELIEF CENTER JAPAN

SINCE1988

大阪市城東区森之宮2-2-8-609

## 1988年 民主化を求めて

1988年軍事政権による弾圧は民主化を求める市民、学生、僧侶らを迫害し多くの犠牲者を出しました。日本ビルマ救援センターの活動は薬がないヤンゴンの病院へ薬を送る募金活動から始まりました。

当センターは30年以上にわたり、困難な状況下でも民主化活動を続ける人びと、軍政の残虐な民族迫害政策や対ゲリラ戦によって土地や持ち物を失い、生命の危機に直面している人びと、タイに逃れて苦しい生活を送る人びとを物心両面で支援してきました。

民政移管後の現状は民主化からほど遠く、強制労働、強制移住、性暴力、略奪などの多くの人権侵害が報告されていました。

## 2021年 再び民主化を求めて

2021年2月1日、再び起きた国軍によるクーデターで

- 1582人の子どもを含む武器を持たない市民が殺され
- 9378人が逮捕・拘束されています 政治囚支援組織2月25日現在
- 40万人の国内避難民が国境地域で避難生活を送っています  
国連人道問題調査事務所(OCHA)報告

## 日本ビルマ救援センターの支援活動

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| • CDM（市民不服従運動）支援   | 9,270,000円 |
| • NUG（国民統一政府）保健省支援 | 6,400,000円 |
| • チン州国内避難民支援       | 500,000円   |
| • カレン州国内避難民支援      | 888,000円   |
| • カヤー州国内避難民支援      | 800,000円   |

国内避難民へ  
温かい衣服と  
毛布支援



応急処置セット  
医薬品支援



街頭募金活動



国内避難民  
食糧支援



## 「水先案内人」

### 関宏之さんのエッセイ

④



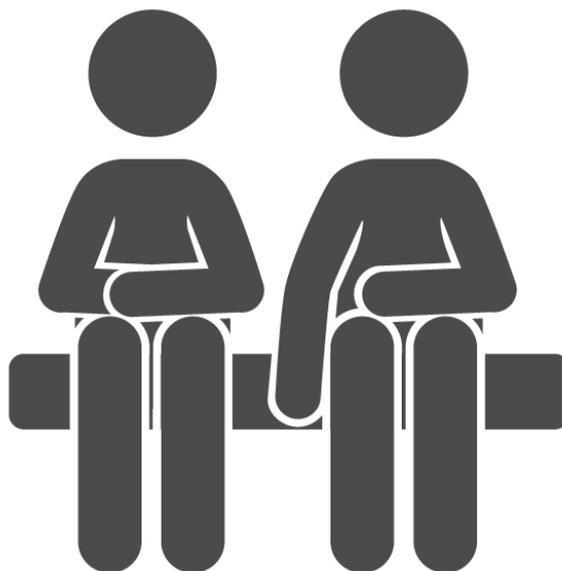
#### ④ 隣に居ます

彼、仮に西君としておく。あるNPO法人の重鎮で25歳。ひよんなことから親しくなった。その法人の決算書を見る機会がありびっくりした。人件費が余りにも安かったから間違いではないかと聞いた。間違いではなかった。心ある方たちからの献金が財源で、給与はその中から出ていると申し訳なげに言った。最近国からの助成金ができるようになり事務費が捻出できるようになったようだ。寄附金を募集するような手立ては講じないのかと聞いたが、曖昧な返事だった。どんな生活なのか。彼は、最近結婚したそうだ。奥さんは彼を理解してくれているという。奥さんの稼ぎがすべてのようだ。

彼は、人生を投げ出そうとしている人に「わざと自分を不幸にしないで下さい！」というだけで、その人の境遇を社会のせいにして嘆いてみせたり、哀しい世相に向き合うのは大変だねと同調したり、強くなれ！頑張れよ！と鼓舞するようなことはしない。

そんなに頻繁に相談を受けることもないだろうからと、週2日だけでも相談支援の業務に携わってもらえないかと頼んだことがある。むろん、彼にささやかでも収入の手立てを講じることが目的だった。考えさせて下さいということだった。しばらくして連絡をもらい来てもらった。彼は、スーツ姿で現れ、「折角の提案だったけど、お断りしたい」という返事だった。後日彼と腹藏なく話をした時に、「危うく、自分の魂を売るところでした」と告白された。私は悪魔を演じるところだった。

その人の隣で黙って居並び、ただ念じるだけ、報われない仕事だねと言ったが、「そうでもないです。」と語調を押し殺して確として答えた。たまに会う時には居ずまいを正してからお会いしている。



## 【ご協力いただきありがとうございます】

社会福祉法人そうそうの杜では、当法人の理念や事業、目的に賛同される方、事業活動へのご支援をいただける方に寄付をお願いしています。書面にて大変失礼かとは存じますがお力添えくださいますようお願い申し上げます。ご支援いただいた寄付金につきましては、大切に使用させていただきます。また、寄付をしていただいた皆様には機関紙「想創奏」をお送りします。

寄付の方法は、以下の郵便振替口座にて御振込いただきますようお願いいたします。今後ともご支援、ご協力いただきますように、法人として努力して参りますのでよろしくお願いいたします。



ゆうちょ銀行

口座番号：00940-5-185986

振込先（加入名）：社会福祉法人 そうそうの杜



一般寄付（2021年9月14日～2021年12月1日にご支援頂いた方）

飯田 靖子、稲岡 了三、金子 公子、倉川 俊介、田中 多佳子、野間 満典、  
三宅 克英、森 貴宏、(株) 田中止鉄工所

（敬称略）

その他、地域の方々にアルミ缶・牛乳パック・おもちゃ、古本、中古家具等、様々な物品のご寄付を頂いており

ますことを、心より感謝申しあげます。いつも本当にありがとうございます！！

### 訂正のお知らせとお詫び

「想創奏」2022年新年号につきまして、今福事業所の千谷良太さんの抱負が掲載できておりませんでした。つきましては下記の内容を今号にて掲載させていただきます。ご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

記

千谷 良太 ：就職に向けて今福で仕事がんばる



**法人本部**

・大阪市城東区鳴野東3-2-26                      Tel : 06-6965-7171   Fax/06-6167-2622

**地域生活支援センターあ・うん 相談支援事業**

・城東区鳴野東3-2-28                      Tel/06-6969-8123   Fax/06-6167-2622

**大阪市障がい者就業・生活支援センター 北部地域センター**

・城東区鳴野東3-2-28                      Tel/06-6955-9921   Fax/06-6167-2622

**とことこっと 居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援・訪問介護**

・城東区中央1-6-28                      Tel/06-6167-7530   Fax/06-6955-8826

**庵 生活介護**

・城東区中央1-6-23                      Tel/06-6935-0909

**げんげん 生活介護**

・城東区鳴野東3-18-5                      Tel/06-6180-9670

**伝 児童発達支援・放課後等デイサービス**

・城東区鳴野東3-2-26                      Tel/06-6955-8070

**創奏 生活介護**

・城東区鳴野東3-3-1                      Tel/06-6923-8929

**Kawasemi 就労継続支援A型**

・城東区中央1-6-29                      Tel/06-6935-1111   Fax/06-6935-1911

**杜のShokudo 就労継続支援B型**

・城東区鳴野東3-2-26                      Tel/06-6955-8080   Fax/06-6167-2622

**座座 就労継続支援B型**

・城東区鳴野東3-2-12                      Tel/06-4258-6013

**つむぎ館 就労継続支援B型**

・城東区鳴野東3-2-26                      Tel/06-6180-6820

**今福事業所 就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援**

・城東区今福南1-2-24                      Tel/06-6933-0737

**いま福の家 地域密着型・介護予防型通所サービス / 共生型生活介護**

・城東区今福南 4-15-33                      Tel/06-6180-7399

**添 短期入所**

・城東区鳴野東3-2-5                      Tel/06-6167-5395

**Lianの杜 杜のざっかやさん**

・城東区鳴野東3-2-1